



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 株式会社サン・ライフ 上場取引所 東  
 コード番号 4656 URL http://www.sunlife.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援本部長 (氏名) 石野 寛 (TEL) 0463-22-1233  
 兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,359	△0.4	745	△8.6	850	△11.4	520	△14.4
28年3月期第3四半期	8,395	4.8	815	8.6	959	12.0	607	14.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 540百万円(△8.2%) 28年3月期第3四半期 588百万円(△8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	80.26	—
28年3月期第3四半期	93.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	36,000	5,798	16.1
28年3月期	35,971	5,452	15.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 5,798百万円 28年3月期 5,449百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	2.4	1,200	4.8	1,270	0.3	650	—	100.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	6,820,000株	28年3月期	6,820,000株
29年3月期3Q	336,844株	28年3月期	336,844株
29年3月期3Q	6,483,156株	28年3月期3Q	6,483,156株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間売上高は前年同四半期比0.4%減の8,359百万円となりました。

ホテル事業では、多様なご婚礼ニーズに応えるため、ホテルサンライフガーデンのテーマパーク化、スタッフのおもてなしサービス体制の強化、SNS・WEB広告を推進しましたが、ご婚礼施行組数減少により、売上高は前年同四半期比8.0%減の1,957百万円となりました。

式典事業は、前期末に新設致しましたご家族様が故人様と大切なお時間を創造できる「アットホーム」をコンセプトにした「サン・ライフ ファミリーホール二宮」の順調な稼働と生前ご相談会、施設見学会・フェスタの週末開催等、お客様とのコミュニケーションを深める活動を推進しました。また、平成28年11月、神奈川県綾瀬市寺尾西に「ファミリーホール綾瀬」を新設致しました。これらの結果、売上高は前年同四半期比1.3%増の5,737百万円となりました。

その他の事業では、介護サービスの品質向上に努めました。また、少額短期保険では、平成28年6月より「ご葬儀費用直接支払サービス」を開始し、ご加入者のサービス内容の拡充を図りました。

その結果、在宅介護のご利用者及び少額短期保険の加入が順調に推移し、売上高は前年同四半期比10.2%増の664百万円となりました。

営業費用は、新設斎場に伴う広告宣伝費等が増加したことにより、前年同四半期比0.4%増の7,613百万円となりました。

これらの結果、営業利益は前年同四半期比8.6%減の745百万円、経常利益は前年同四半期比11.4%減の850百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比14.4%減の520百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は36,000百万円となりました。

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ28百万円増加し、36,000百万円となりました。これは、有価証券の償還による流動資産の減少1,599百万円、その他有形固定資産及び建設仮勘定等の増加による有形固定資産の増加475百万円、のれんの償却等による無形固定資産の減少172百万円、投資有価証券の増加等による投資その他の資産の増加1,325百万円があったことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ317百万円減少し、30,202百万円となりました。これは、未払法人税等の減少等による流動負債の減少167百万円、前払式特定取引前受金及びその他固定負債の減少等による固定負債の減少149百万円があったことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ345百万円増加し、5,798百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益520百万円の計上と配当金の支払194百万円の結果、利益剰余金が325百万円増加したこと、及びその他有価証券評価差額金の増加23百万円があったこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、平成28年5月9日の「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,895,226	10,720,853
売掛金	415,913	399,247
有価証券	2,067,790	182,035
商品	40,758	41,871
原材料及び貯蔵品	71,680	81,080
その他	1,148,581	2,614,972
貸倒引当金	△2,235	△1,958
流動資産合計	15,637,714	14,038,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,553,089	5,658,365
土地	7,759,977	7,700,858
その他(純額)	359,652	788,683
有形固定資産合計	13,672,719	14,147,906
無形固定資産		
のれん	447,458	267,036
その他	416,666	424,501
無形固定資産合計	864,124	691,538
投資その他の資産		
供託金	1,070,965	1,077,965
その他	4,773,270	6,093,350
貸倒引当金	△46,823	△48,256
投資その他の資産合計	5,797,411	7,123,058
固定資産合計	20,334,255	21,962,503
資産合計	35,971,970	36,000,605
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	549,222	561,073
未払金	434,424	559,519
未払法人税等	306,721	89,926
引当金	130,110	77,350
その他	881,959	847,475
流動負債合計	2,302,437	2,135,345
固定負債		
前払式特定取引前受金	27,244,590	27,171,975
引当金	88,435	64,040
退職給付に係る負債	123,382	131,763
その他	760,621	699,293
固定負債合計	28,217,029	28,067,072
負債合計	30,519,467	30,202,418

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	236,733	236,733
利益剰余金	4,841,263	5,167,167
自己株式	△325,466	△325,466
株主資本合計	5,362,530	5,688,433
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86,541	109,753
その他の包括利益累計額合計	86,541	109,753
非支配株主持分	3,431	-
純資産合計	5,452,503	5,798,187
負債純資産合計	35,971,970	36,000,605

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	8,395,581	8,359,074
売上原価	6,106,118	6,122,589
売上総利益	2,289,462	2,236,484
販売費及び一般管理費	1,473,988	1,490,944
営業利益	815,474	745,540
営業外収益		
受取利息	9,344	6,007
受取配当金	79,148	29,596
前受金月掛中断収入	39,338	20,906
不動産賃貸収入	8,658	11,409
投資有価証券売却益	46,429	26,841
その他	28,760	32,492
営業外収益合計	211,678	127,253
営業外費用		
不動産賃貸費用	8,588	7,877
前受金復活損失引当金繰入額	29,950	2,884
投資有価証券売却損	24,227	4,375
その他	4,738	7,040
営業外費用合計	67,505	22,178
経常利益	959,647	850,615
特別利益		
補助金収入	-	14,990
特別利益合計	-	14,990
特別損失		
固定資産除売却損	5,872	78,437
固定資産圧縮損	-	14,990
特別損失合計	5,872	93,427
税金等調整前四半期純利益	953,775	772,177
法人税、住民税及び事業税	396,363	292,242
法人税等調整額	△50,307	△37,030
法人税等合計	346,056	255,211
四半期純利益	607,719	516,966
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△3,431
親会社株主に帰属する四半期純利益	607,719	520,397

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	607,719	516,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,376	23,212
その他の包括利益合計	△19,376	23,212
四半期包括利益	588,343	540,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	588,343	543,610
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△3,431

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	2,127,424	5,665,394	7,792,819	602,762	8,395,581	—	8,395,581
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	140,251	—	140,251	15,681	155,932	△155,932	—
計	2,267,676	5,665,394	7,933,070	618,443	8,551,514	△155,932	8,395,581
セグメント利益 又は損失(△)	26,737	1,382,752	1,409,490	114,644	1,524,135	△708,660	815,474

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△708,660千円には、セグメント間取引消去47,476千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△756,136千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,957,601	5,737,381	7,694,983	664,091	8,359,074	—	8,359,074
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,817	—	135,817	16,706	152,524	△152,524	—
計	2,093,419	5,737,381	7,830,800	680,798	8,511,599	△152,524	8,359,074
セグメント利益 又は損失(△)	△17,055	1,307,540	1,290,485	118,906	1,409,392	△663,851	745,540

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護事業、ファイナンシャル・サポート・サービス、有料老人ホーム事業、少額短期保険業が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△663,851千円には、セグメント間取引消去47,998千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△711,850円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。